

## CONTENTS

1. 令和4年度全国一斉海浜清掃はじまります \_\_\_\_\_ 1
2. 環境・生態系維持・保全活動等支援事業  
～小冊子「海の楽しみ&海の危険」の作成～ \_\_\_\_\_ 1  
～豊かな里海づくり体験プログラム～ \_\_\_\_\_ 3
3. 海と渚クリーンアップ活動(海浜清掃活動) 報告 \_\_\_\_\_ 7  
令和3年度 海の羽根募金・あとがき \_\_\_\_\_ 12

<http://www.umitonagisa.or.jp>

公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構

発行者 公益財団法人 海と渚環境美化・油濁対策機構  
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-24 湯島ペアービル7F  
TEL 03-5800-0130 FAX 03-5800-0131  
E-mail [info@umitonagisa.or.jp](mailto:info@umitonagisa.or.jp)

Twitter  
フォロー  
お願いします



@umitonagisa

## 1. 令和4年度全国一斉海浜清掃はじまります

過去2年、感染対策で清掃活動も自粛、縮小が続いていますが、令和4年度は今のところ、これまでのような規制はないので、少しでも以前のような状態に近づいた清掃活動が実施されるのではないかと期待しています。

ごみ袋の配布状況から推測すると、昨年度使わなかったごみ袋があるなどの理由でごみ袋配布数は昨年と変わりませんので、清掃活動を実施する環境が大きく改善したとは言えませんが、多くの報告をお待ちしています。

海浜清掃は安全第一! けが対策、日焼け対策、水分補給をしっかりと楽しい思い出、次もまた参加しようと思えるような清掃活動にしてください。

今年の旗揚げ式は、5月22日(日)に、兵庫県明石市の江井ヶ島海岸で、晴天の下開催されました。

## 2. 環境・生態系維持・保全活動等支援事業

### ～小冊子「海の楽しみ&海の危険」の作成～ 琴引浜鳴き砂文化館

#### 1. 事業目的

安全に海岸清掃やビーチコーミングを行うための知識と、危険な人工漂着ごみをしることで、改めて海の環境保全の大切さを学ぶ機会にして頂くため。

#### 2. 事業内容

小冊子の制作「浜辺の楽しみ&浜辺の危険」

A5判・16頁・カラー 部数500冊

制作にあたり、琴引浜ネイチャークラブハウスの安松貞夫先生と京都府農林水産技術センター海洋センターの研究員の方へのヒアリングを実施しました。また、危険生物の写真を新潟市水族館マリンピア日本海様から海底清掃の写真を京都府漁業協同組合様などから提供頂きました。

「浜辺の楽しみ&浜辺の危険」の内容

- 1 浜辺に出かける前の準備と注意
- 2 浜辺の危険物を知ろう
  - ・危険な人工漂着物
  - ・危険な生物
  - ・プラスチックごみ、マイクロプラスチック問題
- 3 地域のビーチクリーンアップ活動と学習会
  - ・はだしのコンサート
  - ・漂着物ワークショップ
- 4 今後に向けて
  - ・浜辺を楽しむために
  - ・渚は幼魚の保育所
  - ・漁業者の清掃活動

### 安全に浜辺活動やビーチコーミングを行うために

# 浜辺の楽しみ & 浜辺の危険

琴引浜鳴き砂文化館

安全に浜辺活動やビーチコーミングを行うために

この冊子は環境保全、人と環境調和型観光推進の観点から作成されました。

### 1 浜辺に出かける前の準備と注意

## 準備と注意

◆ 服装は安全対策をしましょう。  
浜辺は日陰が少ないため、紫外線が強く降り注いでいます。紫外線対策は必ず行ってください。また、服装は汚れる可能性があるため、汚れても構わない服装を準備してください。

◆ お風呂の準備をしましょう。  
浜辺にはお風呂場がありません。更衣室、シャワー施設が完備されている施設を利用してください。

◆ 貴重品はしっかりと保管してください。  
貴重品はしっかりと保管してください。また、貴重品はしっかりと保管してください。

◆ その他、親しい方と一緒にマリンに遊びたい場合は、必ずマリンガイドの案内に従ってください。

Contents

- 1 浜辺に出かける前の準備と注意
- 2 危険な人工漂着物
- 3 危険な生物
- 4 地域でのビーチクリーンアップ活動と学習会
- 5 今後に向けて

### 2 浜辺の危険物を知ろう

## 危険な人工漂着物

浜辺には、日常生活で発生したゴミや廃棄物が漂着することがあります。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【廃木の釘】  
廃木の釘は、歩行者の足を刺さる危険があります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【医薬品類】  
医薬品類は、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。また、水質汚染の原因にもなります。

【ガラス類】  
ガラス類は、歩行者の足を刺さる危険があります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【蛍光灯・電球】  
蛍光灯や電球は、歩行者の足を刺さる危険があります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

### 3 危険な生物

## 危険な生物

浜辺には、様々な危険な生物が潜んでいます。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【イソギンチャク】  
イソギンチャクは、歩行者の足を刺さる危険があります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【ヒメトド】  
ヒメトドは、歩行者の足を刺さる危険があります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【クマノミ】  
クマノミは、歩行者の足を刺さる危険があります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【シロウミヘビ】  
シロウミヘビは、歩行者の足を刺さる危険があります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

### 4 地域でのビーチクリーンアップ活動と学習会

## 地域でのビーチクリーンアップ活動と学習会

地域でのビーチクリーンアップ活動や学習会は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【清掃活動】  
清掃活動は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【学習会】  
学習会は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

### 5 今後に向けて

## 今後に向けて

今後に向けて、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【環境保全】  
環境保全は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【学習会】  
学習会は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

### 6 環境保全の取り組み

## 環境保全の取り組み

環境保全の取り組みは、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【清掃活動】  
清掃活動は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【学習会】  
学習会は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

### 7 環境保全の取り組み

## 環境保全の取り組み

環境保全の取り組みは、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【清掃活動】  
清掃活動は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

【学習会】  
学習会は、環境保全の観点から非常に重要です。これらは多くは目立たず、気づかずに歩くと怪我の原因になります。また、動物や鳥類が誤って食べてしまうと、健康被害や死に至ることもあります。

### 3. 制作期間

令和3年7月1日(水)～令和4年1月31日(土)

### 4. 配架先

地域宿泊施設及び全国鳴き砂ネットワーク加盟団体 他

### 5. 総括

海の清掃活動が盛んになる中、案外危険な人工漂着ごみについて周知されていないのでは、という思いがこの冊子を制作しようと思ったきっかけでした。

当初は海の専門家、水産技術センターや漁業従事者の方々の講演(出前語らい)を依頼したうえで、冊子をまとめるつもりでしたが、コロナで講演を開催することが難しい状況となりました。緊急事態宣言後、改めて開催するつもりでいたのですが、緊急事態宣言解除後、様々な事業が一斉に動きだし、各方面の調整が難しく断念した次第です。

結果、海洋センター様や漁業従事者様へのヒアリングと提供頂いた資料をもとに、冊子制作を進める形

となりました。監修をお願いしていました“琴引浜ネイチャークラブハウス”の安松貞夫先生からは、危険物以外にビーチクリーンアップ活動と学習会の内容も含め浜辺の楽しみも盛り込んでとアドバイスを頂き、また海と渚機構様からは漁業者による海岸・海底ごみ回収などの情報も頂き、編集させて頂きました。

サイズはA5判で実際の活動に持ち歩きして頂けるよう小さなサイズに仕上げました。プラスチックごみ問題が広まる中、琴引浜で清掃活動をされるボランティア団体をはじめ教育旅行として訪れ海の清掃を体験される多くのみなさまに一読して頂き海の環境保全の意識を高めて頂ければと願っています。

令和2年度はパネル制作で、令和3年度は冊子制作という形でお世話になりありがとうございました。本来なら何らかのイベントを開催するために補助金を頂くものかと思いますが、このような紙媒体の制作費として基金を利用して頂いたことに深く感謝をいたします。

今後も海の環境保護の重要性を多くの方に伝えていきたいと思っています。

## ～豊かな里海づくり体験プログラム～ 一般社団法人CS阿波地域再生まちづくり

### 1. 事業名

豊かな里海づくり体験プログラム

### 2. 事業目的

徳島小松島港赤石地区周辺は、海辺に面して公共の交流空間が整備され、市民の釣りやウォーキングコースとしての憩いの場や、野球場、400mトラックのあるグラウンドによる健康づくりができる多機能な空間構成となっている。一方、港海辺周辺はごみが放置されていたり、漂着ごみや河川ごみが海洋へ流出し近年問題となっている。社会問題となっている海洋マイクロプラスチックごみが当エリアでも深刻化している。このような状況により、地域の海洋環境問題の解決に向け、地域レベルで実践できる保全活動として次世代を担う子供たちと実施することとする。

### 3. 事業内容

#### ①取組内容

プラスチックごみの有害性を学習し、実際に収集

活動を行う。

- 1、活動日 令和3年11月7日(日曜日)
- 2、活動場所 徳島小松島港赤石ふ頭周辺
- 3、参加者：45名
- 4、対象者：5歳以上の親子申し込み

#### ②取組プログラム内容

##### 1. 海辺のクリーンアップ清掃

- ・「海洋環境美化クリーンアップ活動実施」プラスチックごみの収集
- ・「収集ごみ重量測定」ごみの重量測定競技(収集したごみの量を競いあい、一番重たかった親子に1位の記念品を提供)

##### 2. 漁船クルージング体験

親子を対象に、漁船クルージング体験乗船をおこない、洋上の漂着ゴミを身近に感じてもらう問題意識の向上を行う。海洋環境をより身近に感じてもらう、自然に触れる機会を創出する。船と港には常に監視員を置いて安全に配慮する。

3. 活動エリア図(朱字枠)



写真① 親子清掃の様子



写真② 親子清掃の様子



写真③ プラスチックごみ収集の様子



写真④ 海岸清掃の様子



写真⑤ 流木ごみの収集の様子



写真⑥ プラスチックごみ収集の様子



写真⑦ 清掃活動終盤の様子



写真⑧ 消波ブロック間に体積するごみ収集



写真⑨ 収集活動をした後のごみ



写真⑩ ごみ計量の様子



写真⑪ 収集したごみの一部



写真⑫ ごみ収集表彰の様子



写真⑬ 漁船クルージングの様子



写真⑭ 漁船クルージングの様子



写真⑮ 漁船クルージングの様子



写真⑯ 漁船クルージングの様子

#### 4. 事業成果

コロナ禍という社会環境の中で、県内のイベントや行事は中止が相次ぎ、子供達の行き場がなくなりつつあった。本事業では他団体と同様開催の実施について判断が極めて難しい状況下であったが、徳島県は幸いコロナ感染拡大中でもアラートや制限が宣言されておらず、実施することが可能となった。実施にあたり感染対策として、受付時に検温検査、マスクの着用の義務付け、消毒液の設置等を行った。

学童クラブや保育所・保育園にチラシを配布した他、各所に広報したことから、当日の参加者は、コロナ禍の中、満員御礼の申込をいただき、45名ほどの親子参加があった。

主なプログラム内容は、海洋環境のための浜辺の清掃活動とクルージング乗船を実施し、清掃活動では、単に清掃を行うための参加者募集では人が集まらないことが懸念されていたため、創意工夫を凝らし、親子で収集したごみの量を競う競技形式の清掃活動とした。

クルージングは1回30分程度、乗船定員が7～8名なので、6回ほど行い、参加者全員が乗船した。

収集したごみの量を競うことで、多くのごみが収集でき参加者の保護者からは、「ごみ拾いの時間があったという間に過ぎて多く拾いたい! 拾うことが楽しい!」という意見が多く寄せられた。測定の結果、一番多く収集してくれて親子のごみの量は約50kgにも達しており、全体で2トンのごみを収集した。収集ごみの種類は流木をはじめ生活ごみや家電もあり、一番多かったのは、プラスチックごみでビニール袋やお菓子の袋、ペットボトルなどが収集された。また、海をより身近に感じてもらえるよう参加者の皆さんに漁船に乗船してもらい、港内を周遊するクルージングを実施した。本事業を通して参加者の方々に、海洋ごみの削減の重要性や、海を守ることの大切さを啓発できたと考えている。

多くの参加者から、次年度もまた参加したい意向をうけており、可能な限り実施を計画していきたい。

#### 情報発信、寄稿

当機構が行った主な情報発信を紹介します。

##### ・漁業系海洋プラスチックごみQ&A 漁業系プラごみの大半は外国由来 —日本の漁業者主犯説は誤解—

G20大阪サミット以降、日本の海洋プラスチックごみ汚染の主犯は日本の漁業者であるかのような誤った認識が社会に深く浸透、定着しています。

今回、当機構では、この誤った認識を払拭すべく、HP等で公開されている環境省の報告書や資料等をもとに、独自に検証を行い、その結果を「漁業系プラごみQ&A」としてとりまとめました。

URLから御覧下さい。

<http://www.umitonagisa.or.jp/html/kaigan3.html>

##### ・環境に配慮した漁具の開発について

海洋プラごみの1つである投棄・遺失漁具(網やロープ等)が、ゴーストフィッシングや海岸の景観劣化など海洋環境悪化の原因になっていることが指摘されています。当機構では、海の豊かさを将来に亘って享受するため、海洋生物や海洋環境と共存可能な漁具の開発を進めています。ここでは

植物由来の素材である「ポリ乳酸」を使った漁具の開発事例を紹介しました。

URLから御覧下さい。

[http://www.umitonagisa.or.jp/html/bika.html#\(4\)](http://www.umitonagisa.or.jp/html/bika.html#(4))

##### ・寄稿文

3月に週刊農林へ寄稿しました。スプーンやストローなど陸のプラスチック対策は多くの情報が流れていますが、それに比較して海で使用する資材の対策は情報が少ないようです。せっかく頂いた機会ですので、上記の2つの内容について寄稿しました。

##### ・資料の提供

①国際協力機構(JICA)で海外研修生及び職員教育に使用するテキスト(日本の水資源管理の経験)作成のため、当機構が2001年に制作した森から流れる栄養塩を描写したポスターを提供しました。この報告書はJICAのホームページに公開されています。

②ナショナルジオグラフィック5月号の「森づくりで豊かな漁場を」のコーナーで令和元年度漁民の森活動状況調査の図を提供しました。

# 3. 令和3年度 海と渚クリーンアップ活動(海浜清掃活動)報告

## 未来に残したい、美しい浜辺・青い海

\*全国から集まった海浜清掃活動報告をご紹介します。(ホームページに掲載したものの一部です)

\*ホームページ <http://www.umitonagisa.or.jp/html/genchihoukoku.html>

\*Twitter <https://twitter.com/umitonagisa>

### ■北海道

#### 北海道漁業協同組合連合会

令和3年11月14日

活動場所 散布漁協 藻散布地区・  
火散布地区・養老散布地  
区・渡散布地区

参加者 80名

ごみの量 自然物ごみ 100袋

人工物ごみ 100袋

コメント ペットボトルが思いのほか多かった。日本で作られたプラスチック製品のごみが多かった。直近にもごみ拾いを実施したが、低気圧の通過で大量のごみが打ち上げられていた。



#### 北海道電力ネットワーク(株) 浦河ネットワークセンター・ 北海電気工事(株)浦河営業所

令和3年6月30日

活動場所 様似町 親子岩ふれ愛  
ビーチ

参加者 9名

ごみの量 自然物ごみ 5袋

人工物ごみ 4袋

コメント 函館市の地域貢献となり、住民の方が多く集まる大森浜でゴミ拾いをし、綺麗な浜辺にできたことを嬉しく思います。今後も継続して本活動を実施してまいります。利用されるお客さまが安全に楽しんでいただける海水浴場となるよう、小さなごみにも留意して清掃活動を行いました。今後も継続して海開き前に本活動を実施してまいります。



### ■青森県

#### 横浜町

令和3年6月27日

活動場所 横浜町内(陸奥湾沿岸  
地域)

参加者 900名

ごみの量 自然物 100袋

人工物 900袋

コメント 今年は強い突風が吹きつける日があった影響か、全体的に漂着物の量が多く、特に砂に埋まっている漁具などはなかなか掘り出せないため回収できないなどの声が多かった。



#### 蟹田平館地区海岸環境美化 活動組織

令和3年9月5日~9月18日

活動場所 外ヶ浜漁業協同組合管内

参加者 173名

ごみの量 4,250kg

人工物ごみ 1,500袋

コメント 外国語表記のごみが多い。全国的な水害が関係しているのか大木の漂着が多く見受けられる。



### ■岩手県

#### 東北電力 NW(株)

①令和3年4月22日、②6月22日、

③令和4年3月30日

活動場所 ①宮古市 鮎ヶ崎 とどが  
さき 灯台近傍の船着場  
(長磯 ながおそ)

②宮古市 浄土ヶ浜園地内

③宮古電力センター築地  
事業所周辺(閉伊川河  
口船舶係留施設含む)

参加者 ①27名、②31名、③14名

コメント 船着場周辺は一見キレイに見えたが、いざゴミ拾いしてみると、ペットボトルやプラスチックのトレイなどのゴミも多く、回収したごみの量は30%の袋で39袋にもなった。鮎ヶ崎灯台は水平線がキレイで何度も訪れたいスポットであり、観光の方も多くいつまでもキレイな場所であって欲しいと思う。清掃活動を通して自分のゴミは自分で持ち帰るという当たり前の行動の大切さを改めて感じた。浄土ヶ浜は予想以上にきれいであった。これから訪れる人にもごみを持ち帰るよう心掛けてもらえるとうれしい。空缶、ペットボトルなどのゴミがあったものの、思ったよりはゴミが少なく、川や海を大事にしている印象を受けた。



## ■神奈川県

### 長井町漁業協同組合

令和3年10月5日

活動場所 長井各漁港

参加者 260名

ごみの量 自然物ゴミ 2,000袋  
人工物ゴミ 1,500袋



## ■富山県

### 滑川高校海洋科生徒 他

令和3年4月12日、19日、24日、26日

5月31日、6月7日、7月3日、17日

7月24日、8月2日

活動場所 滑川漁港周



### 富山火力発電所

令和3年10月26日

活動場所 富山市八重津浜海岸

参加者 82名

ごみの量 自然物ごみ 15袋  
人工物ごみ 30袋  
その他 3袋

コメント 人工物ごみの大半は、空き缶で占められていた。広範囲ではなかったが、大量のゴミがあり、黙々とゴミ拾いを行い、いい汗を流しました。



## 北陸電力(株)

### 富山新港火力発電所

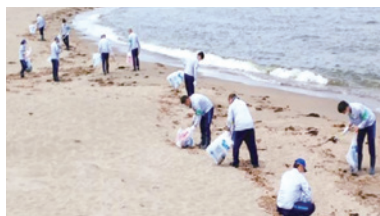
令和3年6月16日

活動場所 海老江浜

参加者 28名

ごみの量 自然物ゴミ 15袋  
人工物ゴミ 2袋

コメント 毎年清掃活動をしていて、今年の浜辺は綺麗だったが、浜に行く途中の道路脇や駐車場にゴミが落ちているのが見えた。時間がなくその場所を清掃できなくて残念だった。毎年参加しているが、今年は例年と比べて、流木などの非人工物のゴミが多い様に感じた。



## ■石川県

### 北陸電力(株) 原子力本部

令和3年7月12日

活動場所 増穂浦海岸(石川県羽咋郡志賀町富来領家地内)

参加者 81名

ごみの量 自然物ゴミ 75袋  
人工物ゴミ 160袋  
その他 網、浮き(フロート)、ロープ、韓国製プラなど

コメント プラスチックのフロートや、発泡スチロールなど大きな物から、小さなプラスチックの破片、ペットボトルなど海のプラゴミが今回も多く見られました。また漂流ごみ(特にハンゲルのプラスチックやペットボトル)が目立ちました。



## ■福井県

### 小浜市漁業協同組合

令和3年6月6日、7日、27日

実施場所 小浜、加斗、泊、堅海、仏谷、甲ヶ崎、宇久、加尾、犬熊、田烏、西小川、志積、矢代

参加者 278名

ごみの量 自然物、人工物、その他ゴミ  
合計フレコンバック 118袋

コメント 小浜市の海岸では冬場にごみが大量に漂着するため、1年を通して清掃活動を行っています。フレコンバック等の支援をお願いしたい。



## 越廼漁業協同組合

令和3年10月24日

活動場所 福井市栄崎町 栄崎漁港

参加者 12名

ごみの量 自然物ごみ 2袋  
人工物ごみ 8袋

コメント 漁港内は、思ったほどゴミは少なかったと感じた。しかし、依然として空缶やペットボトルといった人工ゴミが捨てられており、更なる釣り客等のマナーの向上を期待したい。



## ■静岡県

### Nature Clean

令和3年3月27日~12月26日 全7回

活動場所 江南中学校西側河岸  
馬込川右岸

参加者 18名

ごみの量 一般ごみ 292袋  
カンビン 48袋



## ■愛知県

### 美浜町

令和3年6月24日

実施場所 美浜町西海岸  
(伊勢湾側)

参加者 65名



ごみの量 自然物ごみ 100袋  
人工物ごみ 100袋

コメント 人工物よりも自然に発生したごみの方が多い。多すぎて処分できないのでなんとかしてほしい。



### ■三重県

#### 三重県漁業協同組合連合会

①令和3年7月17日

②令和3年7月3日～8月8日

活動場所 ①県内25ヶ所  
②県内各浜24ヶ所

参加者 977名

ごみの量 自然物ごみ 901袋  
人工物ごみ 866袋  
その他 コンテナ 3m<sup>2</sup>×2  
トン袋×4カゴ大×5、  
土嚢袋×55

コメント 令和3年7月17日、三重漁連が主催となり、漁業関係者・水産関係団体・企業団体・一般などによる海浜清掃を行ったほか、7月3日～8月8日にかけて、県内の各浜24か所において海浜清掃が行われ、雑草・木くず・空き缶・ペットボトルなどが回収された。



### ■京都府

#### 京都府漁業協同組合宮津支所

令和3年12月12日

活動場所 阿蘇海船越海岸一帯

参加者 13名

ごみの量 自然物ごみ 25袋  
人工物ごみ 10袋  
その他のごみ 流木 他

コメント 自然ゴミ(松葉等)が沢山ありました。途中フレキシブルコンテナバックがなくなり収集に時間がかかりました。



### ■鳥取県

#### 鳥取市

- ①令和3年4月4日 22名 船磯海岸
- ②令和3年6月6日 20名 船磯海岸
- ③令和3年6月6日 110名 酒津海岸
- ④令和3年8月22日 20名 酒津海岸
- ⑤令和3年8月28.29 30名 船磯海岸
- ⑥令和3年6月27日 15名 岩戸海岸



### ■島根県

#### 漁業協同組合 JFしまね

令和3年7月17日～7月25日

活動場所 JFしまね各支所・出張所  
管内地先海岸

参加者 約15団体 約1,300名

ごみの量 一般ごみ 2,480袋  
カンビンごみ 2,260袋

コメント 一部の地域は川からの木材や竹類が漂着したほか、木片、竹片、海藻類、外国製プラスチック類、ブイ、ローブ類等の漂着ゴミを中心に、漁具、漁網、ペットボトル、缶類等が回収された。



### ■岡山県

#### 岡山県漁業協同組合連合会 岡山県漁協青壮年部連絡協議会

令和3年7月6日～7月21日(秋以降に各自実施の組合の他、日常的な清掃活動あり)

活動場所 岡山県地先海面・  
海岸80km

参加者 100名

ごみの量 自然物ごみ 9,198袋  
人工物ごみ 4,106袋  
その他 袋に入らないものはコンテナ等で回収

コメント 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮しながらの実施となった。そのような中、漁業関係者以外に地元企業や中学校等の有志の参加があり、活動の輪が広がっている反面、依然として自然ゴミの他、ペットボトルやタイヤ、家電等の投棄もみられた。また、感染防止のため一斉清掃を中止し、各自実施の組合もあった。



### ■広島県

#### 大崎上島町

令和3年7月16日

活動場所 大串海岸

参加者 100名

ごみの量 自然物ゴミ 約100袋  
人工物ゴミ 約50袋  
その他 流木、タイヤ、発砲スチロール、プラスチック類

コメント 流木や発砲スチロール、プラスチック類等の漂着ゴミが多く回収された。



## 竹原火力発電所

令和3年10月8日

活動場所 長浜海岸地域・長浜海水浴場他

参加者 56名(地元地区住民・漁協)

ごみの量 自然物ゴミ 23袋  
人工物ゴミ 14袋

コメント 住んでいる町の海がこんなに綺麗だとは気づいていなかった。今後も清掃活動を通じて綺麗な海や町を維持して行きたい。海開き前に清掃できたので、みんなに気持ちよく利用もらえると思う。枯れ木の伐採も行い日当たりがよくなった。また、倒木を片付け歩道が歩きやすくなり、安全確保もできた。



## 山口県

### 山口県漁協青壮年部連合会 防府支部

令和4年2月22日

活動場所 下松市～山陽小野田市の海域(操業中に獲れたゴミを中心に回収)

参加者 70名

ごみの量 自然物ゴミ 50袋  
人工物ゴミ 400袋

コメント 操業中に獲れる海ごみの量が年々増えていると実感する支部員(=漁業者)が依然として多く、今回の取組だけでは取り切れないほどのゴミが海中に存在すると考えられ、継続した取組が必要と考える。また、コロナ禍になって一段とゴミの量(特に、ビニール類、プラスチック容器、不織布マスクなど)が増えたと感じる支部員が多いため、当支部の統一回収イベントなどの機会を通じ、一般県民に対する啓発普及も継続して行っていきたい。

## 徳島県

### 四国電力(株)阿南火力事業所

①令和3年6月22日

②令和3年11月4日

活動場所 小勝島東側海岸

参加者 ①30名(四国電力:18人)  
(電源開発:12人)

②30名(四国電力:17人)  
(電源開発:13人)

ごみの量 ①自然物ゴミ 15袋  
人工物ゴミ 15袋  
②自然物ゴミ 17袋  
人工物ゴミ 17袋

コメント 橘港検疫衛生管理推進協議会活動の一環として、橘湾内海域に漂着した各種ゴミを回収できた。地域の環境美化に貢献できる活動であるため、今後も継続して実施していきたい。



## 愛媛県

### 四国電力送配電(株)松山支社

令和3年10月28日

活動場所 堀江海岸(松山市堀江町)

参加者 25名

ごみの量 人工物ゴミ 13袋

コメント 海水浴シーズンが終わった時期に開催したためか、ゴミが非常に少ない中での清掃となりましたが、花火くずやたばこの吸い殻などの人工物ゴミを回収することができました。きれいな海岸を維持し、訪れた方に気持ちよく利用していただけるよう参加者一丸となって実施しました。



### 愛南町B&G御荘海洋クラブ

令和3年7月22日

活動場所 御荘湾・長洲川(御荘B&G 海洋センター艇庫周辺)

参加者 25名

ごみの量 自然物ゴミ 40袋  
人工物ゴミ 50袋

コメント 大変暑い中での活動となりましたので、熱中症に注意しながらゴミを収集しました。子どもたちはゴミの多さに驚いていましたが、自分たちで活動地域を綺麗にすることによって、環境保全に対する興味も湧いているようでした。



## 高知県

### 高知県四万十町

①令和3年6月25日

②令和3年4月1日～9月30日

活動場所 興津海水浴場

参加者 ①34名 ②250名

ごみの量 ①自然物ゴミ 30袋  
人工物ゴミ 30袋  
②自然物ゴミ 820袋  
人工物ゴミ 820袋

コメント ①海水浴シーズン(今年度はコロナの影響により海水浴中止)に行う地元小中学校とボランティアによる一斉清掃②年間を通じた定期的な清掃活動

## 福岡県

### 福岡県漁協青壮年協議会

実施日時 令和3年6月～12月

活動場所 各漁協 海岸・漁港等34箇所

参加者 1059名

ごみの量 自然物ゴミ 1,431袋  
人工物ゴミ 770袋

コメント コロナの影響か、例年より釣り客によるゴミが多い地区、海水浴で出るゴミが少ない地区があった。また本年は豪雨による流木、台風によるゴミが多い。



## 吉富町、吉富漁業協同組合

令和3年7月22日

活動場所 吉富海岸

参加者 500名

ごみの量 自然物ゴミ 1,500袋  
 その他 大型ゴミについて  
 は直接トン袋に積み込み

コメント 吉富海岸を、一般ボランティア・関係団体等、総勢約500名で清掃活動を実施した。



## ■佐賀県

### 鹿島市ラムサール条約推進室

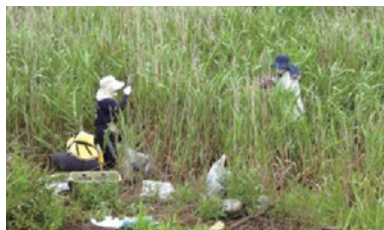
令和3年6月13日

活動場所 肥前鹿島干潟

参加者 178名

ごみの量 自然物ごみ 97袋  
 人工物ごみ 128袋

コメント 思ったよりゴミが多くて驚いた。これからも継続して活動していきたい。



## ■長崎県

### 佐世保市相浦漁業協同組合 (マリンブルーレンジャー)

令和3年4月～4年2月まで15日間

活動場所 佐世保市(高島、浅子、大崎、黒島、船越)

参加者 222名

ごみの量 人工物ごみ 41袋  
 その他 50袋



## ■大分県

### べっぷの海岸みまもり隊

令和3年4月～令和4年3月迄13回

活動場所 餅ヶ浜海岸南側、北側、SPAビーチ、外6箇所漁港

参加者 572人(別ボランティア協力は162人)

ごみの量 自然物ごみ 大730小100  
 人工物ごみ 大180小47

コメント コロナで活動していないと思っていたが活動してくれて嬉しかった。散歩の途中で参加してみたが気分が良かった。冬季になると漂着物より、ポイ捨てされているごみが目立つ。



### 大分県漁業協同組合 臼杵支店

令和3年7月22日

活動場所 海域全域 38km

参加者 480名

ごみの量 自然物ごみ 4,820kg  
 人工物ごみ 5,620kg

コメント 海岸参加者の高齢化が進んでいるので流木など大きなゴミに関しては回収が難しくなってきた。



### 水辺に遊ぶ会

鳩浦地区

令和3年10月9日、10月22日

令和4年1月5日

活動場所 鳩浦海岸(津久見市四浦)

参加者 28名

ごみの量 自然物ごみ 4,820kg  
 人工物ごみ 5,620kg

コメント 年々海岸ゴミが増えているので、袋があると助かります。



## ■宮崎県

### 栄松漁業協同組合

令和3年8月1日、12月26日

活動場所 栄松漁協前海岸一帯

参加者 80名

ごみの量 自然物ごみ 40袋

コメント 栄松前海岸一帯の流木撤去及び除草作業



## ■沖縄県

### 沖縄電力株式会社

令和3年環境月間の6月を中心に20回

活動場所 沖縄県内海岸

参加者 131名

ごみの量 自然物ごみ、人工物ごみ、その他 計55袋

※自然物、人工物等の分類別に分けることができないため、ごみ袋の総数を記載しています。

コメント 沖縄電力および沖電グループ会社社役員により沖縄県内各地の海浜等清掃活動を実施しました。今後も環境ボランティア活動に積極的に参加していく予定です。





# 令和3年度 海の羽根募金

海と渚をきれいにを目指す「海と渚の環境美化活動」に皆様方からの温かいご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。  
(個人の方からもたくさんのご支援をいただきましたが、団体名のみ記載させていただきます。)

- 福島吉岡漁業協同組合
- 落部漁業協同組合
- 広尾漁業協同組合
- 雄武漁業協同組合
- 長万部漁業協同組合
- 枝幸漁業協同組合
- 斜里第一漁業協同組合
- 外ヶ浜漁業協同組合
- 後潟漁業協同組合
- 三陸やまだ漁業協同組合
- 重茂漁業協同組合
- 秋田県漁協女性部連絡協議会
- 中之作漁業協同組合
- 平潟漁業協同組合
- 勝浦漁業協同組合
- 富津漁業協同組合
- 東京都漁業協同組合連合会
- 小坪漁業協同組合
- 小田原市漁業協同組合
- 羽吉浜漁業協同組合
- 津津漁業協同組合
- 越前町漁業協同組合
- 豊浜漁業協同組合
- 忠岡漁業協同組合
- 小島漁業協同組合
- 紀州日高漁協美浜町支所
- 海南市漁業協同組合
- 西脇漁業協同組合
- 神戸市漁業協同組合駒ヶ林支所
- 神戸市漁協駒ヶ林浦漁業会
- 姫路市漁業協同組合白浜支所
- 南あわじ漁業協同組合
- 津名漁業協同組合
- 室津漁業協同組合
- 岡山市漁業協同組合
- くば漁業協同組合
- 阿多田島漁業協同組合
- 首戸漁業協同組合
- 下蒲川町漁業協同組合
- 岩国市漁業協同組合
- 久賀漁業協同組合
- 椿泊漁業協同組合
- 和田島漁業協同組合
- 牟礼漁業協同組合
- 鴨庄漁業協同組合
- 松前町漁業協同組合
- 愛媛県漁業協同組合魚島支所
- 愛媛県漁業協同組合壬生川支所
- 愛媛県漁業協同組合関前支所
- 愛媛県漁業協同組合新居浜支所
- 高知県漁業協同組合室戸統括支所
- 橘浦漁業協同組合
- 北九州市漁業協同組合平松支所
- 北九州市漁業協同組合
- 福岡県漁協青壮年協議会事務局
- 宗像漁業協同組合
- 福岡市漁業協同組合能古支所
- 佐賀玄海漁業協同組合馬渡島支所
- 佐賀県有明海漁業協同組合
- 生月漁業協同組合
- 宇久小値賀漁業協同組合
- 大分県漁業協同組合
- 河内漁業協同組合
- 倉岳町漁業協同組合
- 滑石漁業協同組合
- 大浜漁業協同組合
- 東桜島漁業協同組合
- 瀬戸内漁業協同組合
- 糸満漁業協同組合
- 共水連大分県事務所
- 三重県漁業共済組合
- 香川県漁業共済組合
- 香川県信用漁業協同組合連合会
- 九州信用漁業協同組合連合会長崎統括支店
- 九州信用漁業協同組合連合会宮崎統括支店
- 全国漁業協同組合連合会
- 全漁連釧路油槽所
- 全漁連八戸油槽所
- 全漁連東北事業所・仙台駐在
- 全漁連境港油槽所
- (一社) 海外まき網漁業協会
- (公財) 海洋生物環境研究所
- (公財) 海洋生物環境研究所実証試験場
- (一社) 漁業経営安定化推進協会
- (一社) 漁業情報サービスセンター
- (公財) 漁船海難遭児育英会
- (一財) 漁村教育会
- (一社) 漁港漁場漁村総合研究所
- (一社) 水産土木建設技術センター
- (一社) 責任あるまぐろ漁業推進機構
- 全国遠洋沖合漁業信用基金協会
- 全国漁業共済組合連合会
- 全国さんま棒受網漁業協同組合
- 全国市町村水産業振興対策協議会
- (一社) 全国まき網漁業協会
- (公社) 全国豊かな海づくり推進協会
- (一社) 全日本漁港建設協会
- (一財) 中央漁業操業安全協会
- (一財) 日本鯨類研究所
- (国研) 水産研究・教育機構開発調査センター
- (国研) 水産研究・教育機構水産技術研究所南勢拠点管理チーム
- (国研) 水産研究・教育機構水産技術研究所
- (国研) 水産研究・教育機構 横浜庁舎
- (国研) 水産研究・教育機構
- (国研) 水産研究・教育機構水産資源研究所八戸庁舎
- (株) イタ飯屋
- (株) エルコム
- 酒田曳船株式会社
- サントリービバレッジサービス (株)
- ジエイコインベイ
- ソフトバンク (株)
- タイドードリンク (株)
- 大和ハウス工業 (株) 横浜支社
- たい公望 (有)
- (株) チエノワ情報システム
- (有) 仁徳海運
- (株) 泰州
- ヤンマーマリンインターナショナルアジア (株)
- リーオアシス (株)
- 横浜冷凍 (株)
- 海洋土木 (株)
- 酒田曳船 (株)
- 谷口商会 (株)
- 土居石油 (株)
- 東洋漁業 (株)
- 日本ソリッド (株)
- 郡山ザベリ才学園中学校
- 小田原市立前羽小学校
- 沼堤北中学校
- 北海道水産林務部水産局水産振興課
- (地独) 北海道立総合研究機構水産研究本部函館水産試験場
- (地独) 北海道立総合研究機構水産研究本部網走水産試験場
- (地独) 北海道立総合研究機構さげます・内水面水産試験場
- 岩手県農林水産部水産振興課・海区委員会事務局
- 岩手県水産技術センター
- 宮城県水産林政部水産業基盤整備課
- 福島県農林水産部水産課
- 茨城県農林水産部漁政課
- 茨城県水産試験場
- 栃木県水産試験場
- 東京都産業労働局農林水産部水産課
- 神奈川県環境農政局農政部水産課
- 新潟県農林水産部水産課
- 新潟県内水面水産試験場長
- 石川県農林水産部水産課
- 石川県水産総合センター
- 福井県内水面総合センター清流会
- 静岡県水産・海洋局
- 愛知県農業水産局水産課
- 三重県農林水産部水産振興課
- 三重県水産研究所
- 三重県鈴鹿水産研究室
- 鳥根県農林水産部水産課・沿岸漁業振興課水産親会
- 但馬水産技術センター
- 山口県水産研究センター 外海研究部
- 徳島県水産振興課漁業調査課部会
- 香川県農政水産部水産課
- 福岡県農林水産部水産局水産振興課漁業管理課
- 福岡県水産海洋技術センター
- 佐賀県農林水産部水産課
- 佐賀県有明水産振興センター
- 熊本県水産研究センター
- 大分県農林水産部漁業管理課
- 宮崎県農政水産部漁業資源課
- 鹿児島県水産振興課
- 沖縄県農林水産部水産課
- 水産庁漁業保険管理官
- 水産庁漁政部漁政課
- 水産庁漁政部企画課
- 水産庁水産経営課
- 水産庁国際課
- 水産庁漁場資源課
- 水産庁栽培養殖課
- 水産庁計画課
- 水産庁防災漁村課
- 水産庁加工流通課
- 水産庁管理調整課
- 水産庁整備課
- 水産庁研究指導課
- 水産庁仙台漁業調整事務所
- 水産庁新潟漁業調整事務所
- 水産庁境港漁業調整事務所
- 水産庁九州漁業調整事務所

## あ と が き

海洋プラスチック問題が注目されるようになってから、当機構には毎年2~3か所、新規募金の問い合わせが来るようになりました。一昨年から学校からの問い合わせが続いています。令和の学校は行事や授業を通じて、社会に貢献する教育をしているのでしょうか。昨年は小学校から生徒が栽培した地元野菜の売上金

を国連UNHCR協会と当機構に2等分して寄付したいと連絡があり、そんな組織と並べられたら恐れ多いので、すべてUNHCR様に寄付してと申し上げたら、「生徒達の総意です」と言われ、頂くことにしました。子供たちが楽しめる海になるように微力ながら活動していきます。今後もご支援、ご協力をお願い致します。(福田)

